

2018年2月28日現在
 組合員 4064人
 出資金 1億6489万円
 1~2月の動き
 組合員 新規加入16人
 退会10人



第103号
 2018年3月5日発行
 (奇数月発行)
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
 TEL 0584-92-3268
 ホームページ seinou.coop
 編集 ニュース編集委員会

第5回組合員活動交流集會に70人参加



参加してよかった！
 医療生協が地域でも診療所や介護事業所でも頼もしい存在になってきていることが交流でき私もできることから始めたいと思った。

1月21日(日)、第5回 組合員活動交流集會を介護センターしずさとで開催。組合員・職員など71人が参加しました。

全体会では8つの報告がありました。全体会后、7つのグループに分かれ、意見交換しました。最後に長谷川副所長より「これからにむけての積極的な発言が特徴的な交流集會だった」とのあいさつで閉会しました。

- 【発表演題】
- あしたの支援室から子ども支援の活動
 - 赤坂支部「ヨガ班会」
 - 中央支部「担い手ふやし」
 - 平和「診療所玄関での署名行動」
 - しずさとすけあい
 - 診療所患者送迎の活動
 - リハビリテーション言語聴覚士の仕事って？
 - 訪問看護24時間対応で患者に寄り添って

せいりゅう

「ファントム・バイブレーション症候群」ってご存知でしょうか。日本語で言うと「幻想振動症候群」です。実際には振動していない携帯電話がいかにも振動したように錯覚するといつもので、現代病の一つと言われています。携帯電話の着信(振)に神経質になってる人ほど経験しやすいのだそうです▼私は、胸のポケットに携帯電話を入れています。携帯電話のバイブレーションは、シャツ一枚をへだててほぼ直接的に体で感じるようになります。しかし「ブルブル」と振動を感じて「あっ呼び出した」と携帯を見てもどこからかかかってきていない…気のせいだった。そんなことがこの数年、歩いている時や車の運転中によく経験します。

「ファントム・バイブレーション」は「自己犠牲敏感症候群」と後ろ向きに考えるのではなく、患者さんと自分自身への「安心安全敏感症候群」と前向きに考えたいです。

(M・K)

第5回組合員活動交流集会

つながりある元気なまちづくりをめざして

1月21日(日)午前中「介護センターしずさと」にて第5回組合員活動交流集会が行われました。テーマは「あなたが主人公!つながりある元気なまちづくり」です。

今年8つの演題発表がありました。特別報告で子ども支援の「あしたの支援室」の取り組みの報告から始まり、赤坂支部



年に1度の交流集会ですが、組合員と職員が交流で

散会でも、日ごろの組合員さんの様子や職員さんへの要望、意見、送迎についての感想、職員さんが組合員さんともっと交流したいので呼んで欲しいなどなど活発に交流出来ました。

の班づくりで広がるつながりの報告、中央支部での担い手ふやしについて、「しずさとたすけあい」の取り組み、「憲法9条改憲NO!」署名を診療所玄関での取り組み報告、診療所送迎活動報告、言語聴覚士のリハビリテーションについての事業活動報告、最後に訪問看護ステーションからの事業報告でした。どの報告も5分という短い時間では語りつくせないくらい深い内容でした。この報告をきっかけに「あしたの支援室」にお米を寄付される方もあったと聞きました。

長谷川先生から閉会の挨拶の中で、年々交流集会が深くより良いものになっていると喜んで頂けました。意見交換が苦手な方でも演題発表を聞きに来られるだけで、医療生協の今の活動が感じられます。来年はぜひお友達と誘い合って交流集会に参加されることを強くお勧めします。

組織委員 長屋由利子

大垣綾野地域での子ども支援の活動を発表いただきました

みなさんに「あしたの支援室」の様子を話す機会をいただきましたこと、本当にありがとございました。身近な子どもたちを目を向けようとしてくださる方が増えたこと、高齢者の問題と同じように子どもたちの実情について考えて下さる方がいることを感じられたことが何よりうれしいことです。またこの会の後、ある方がこども食堂「みんなでランチ」にきてくださるようになり、ある方は寄付をしてくださったりしました。有り難く思っています。

あしたの支援室 伊藤

寄稿

皆で育てていきたい医療生協

腰痛。慣れん雪かきなんかするからや。そっだ! 中央支部で理学療法士さんから習った筋膜体操やってみよ。時間かけてゆっくり。慌てたらいかん。あれっ。少し楽になったみたい。

私はすっかり虜になり、続けさせていたでいる。もう一つの転倒予防体操教室にも参加させていただき、その後の運営委員会にも交せてもらい種々な会議が診療所で行われていることを知った。「理事でなくても運営委員でなくても参加していいんやよ」とのこと。

今夜は特に足が浮腫んで靴下のゴムの跡が深い! そっだ。神戸の薬局の先生が教えて下さったリンパマッサージしよ。耳のマッサージも教えていただいたようにキュッキュ40回。耳の穴に指つつこんできゅっ。ぱっ指を外すとあら頭までなんだかすっきり。年齢が進むにつれ、身体のおちこちに故障が起きる。「転ばんこと。足の力が大事やで」 そんな折、中央支部の松岡さんから「スクエアステップに来ん」とお誘いを受けました。支部が違うけどいいかしら」の心配もどこへやら、できない時は声をかけ、やって見せて下さる中央支部の皆さんの温かい雰囲気、

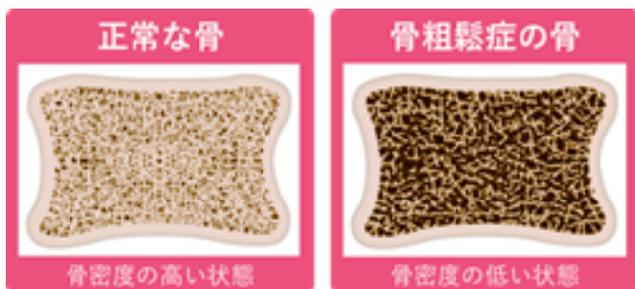
(馬淵直子)

疾患シリーズ **こつそしょうしょう 骨粗鬆症**

しずさと診療所 所長 柄澤正人

◎『骨粗鬆症』とは骨の強度（骨密度）が低下して、骨折しやすくなる病気のことです。骨粗鬆症になると、骨がもろくなり、転倒などちょっとしたことで簡単に骨折してしまうことがあります。骨粗鬆症による骨折から、寝たきりなど介護が必要になってしまう人も少なくありません。寝たきりになる原因の15%が「転倒/骨折」です。

骨折しやすい部位は下図のようです



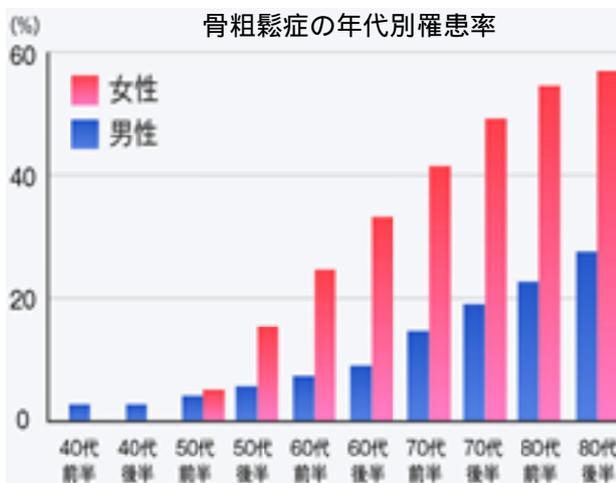
骨粗しょう症になって骨折しやすい部位



◎粗鬆症の症状や年齢は

- 背中や腰が痛む、曲がる、身長が縮んでくる（若い時より4cm以上縮む）などです。
- 女性ホルモンが少なくなった高齢女性に多くなります。
- 実際には自覚症状は少なく、骨折して初めて骨粗鬆症とわかることが多いのです。

診断は、骨の強さを判定する「骨密度」を測ることです。骨密度は若い人の骨密度の平均値と比べて自分の骨密度が何%であるかで表されます



しずさと診療所で

は、最新式の骨密度の検査器具を購入しました。腕を機械の中において、10秒ほどで検査は終わります。骨粗鬆症が心配という方、ぜひ骨密度を測ってみましょう。



また大垣市では、骨粗鬆症健診を行っていて、当院でもできます。(大垣市在住の方で40~70才の女性。健診は期間が限定されていますのでお問い合わせください。費用は500円です)

⇒ 日常生活での注意、治療については次回とします。

健康委員会

第3回健康チャレンジ集計報告

多数の方が挑戦していただきありがとうございました。カードの提出者は、男性35名女性108名、未記入1名の計144名でした。そのうち初めての方28名、2回以上95名、未記入21名でした。年代別では多い順に①70代、②60代、③80代。コース別では、①運動、②口、③脳、④食、睡眠（同数）。自己評価は①健康に

ついて意識するようになった。②体調がいいと感じる日が増えた。③良く眠れるようになった。

今回は、8コースとし、期間も10月から12月の60日としましたが、提出は1回目2回目より少なくなりました。

次回皆さんのアンケートを紹介させていただきます。これからも年に一度続けていきたいと思っております。皆様からのご意見、ご希望をお寄せいただき、健康委員会で検討させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

医療福祉生協連・中部ブロック方針討論集会に参加して

中部7県の7医療生協から70人が参加 しずさと診療所の患者送迎活動について発表



西濃医療生協から診療所患者送迎活動について発表する送迎委員の関さん。

2月4日に敦賀市で行われた「中部ブロック方針討論集会」に参加しました。私は会議の中の議事「会員生協報告」のうち、しずさと診療所送迎委員会として

「しずさと診療所と患者を支える送迎活動」について報告させていただきました。約15分ほどの短い時間でしたが参加各医療生協の皆さんに非常に興味を持って聞いていただきました。この報告の最後に吹雪となってきたため、司会者より帰りの便の心配から質疑は割愛させてもらうとの発言によりその場での質疑の機会がなかったのは残念でした。しかしその後

の分科会でのグループ討議の中で質問攻めにあい、皆さんがこのしずさと送迎というシステムに強い興味を持たれていることが確信できました。

皆さんの質問や意見を列挙することで私たちへの評価がわかると思うのでご紹介します。

①医療生協の中には同様の送迎システムを持っているところはたくさんあるが、送迎タクシーを紹介する方式や、チケット制を含む有償方式、あるいは利用料の一部補填方式等利用者の負担のかかるやり方がほとんどで、しずさと診療所のような無料送迎で経営的にやっていけるのか。↓送迎利用患者の増分利益額と送迎にかかるコストを説明し理解してもらいました。

②ボランティアで送迎をやっているとのことだが、どの生協でもボランティアの担い手（特に男性）が確保が難しいのによく確保できていることへの驚き。

③「送迎の予約受け付け」↓「送迎予定表の作成」↓「各送迎ドライバーと各お迎え患者の割り付け」↓「診療後患者をどのドライバーが送るのか」↓「一日の送迎後の活動費の集計」といった一連の送迎システム（ノウハウ）への驚き。

④ドライバーへの活動費が一人迎えに走って2000円と説明し、ある日の実例をも

とに具体的に一日の活動費を活動時間で割って見せたところ、時間当たり400円にも満たないことが解った。よくそれで送迎委員会のメンバーを維持できますねと感心されました。

当集会の冒頭で連合会の代表専務理事さんより基調報告がありました。初めて医療生協のこのような会議に参加させていただいた私にとっては、医療生協連合会の半数近くの生協が経常剰余赤字であるという報告には非常な驚きでした。各

生協はそれぞれ事業形態が異なりまた歴史も違うため一概には言えないかもしれませんが、私たちも常に生協を守り強化していくための努力が必要だと感じました。そういう意味でもしずさとの送迎システムが生協組合員の助けになり、かつ組合員増加の要因となり、診療所の増収にも貢献して、さらには生協事業の強化につながっているとあらためて感じました。

しずさと送迎委員会 関 豊明

子どもも大人も楽しめた

教育フェスティバル

いじめや不登校の子どもが、過去最高になっていると言われる今、学校や人とのかわりのあり方を、一緒に映画を見て、話し合ってみませんか

2月11日、「第25回西濃子どもと教育フェスティバル」が開催されました。今年も、夜間定時に学ぶ子らを取材したドキュメンタリー映画『月明かりの下で』を鑑賞。今年も、大人向けの映画だけでなく、積み木や科学遊びなど、大人も子どもも楽しめる企画が盛り込まれていました。映画も、見るだけでなく、感じたことを交流する分科会も持たれました。

この映画に登場する子どもたちの多くが、不登校を経験し、その行きたくないは

ずの学校に登校してきます。机の上に乗って寝転がり、教室に行かず職員室でしゃべりだけして「下校」します。そんな子どもたちに先生たちは「こやかに対応します。感想アンケートには、「あんな子をなぜ注意しないのだ」とは書かれてありません。「大変な運命を背負っている子どもたち」「弱さと優しさ」「辛かった。でも、先生との会話、一緒に問題を考える先生たち、仲間たちの交流に胸を打たれた」「ここに教育の原点」……と。

20年以上にわたって続けられている教育フェスティバル。「今年も、やはり来てよかった」「子どもも楽しめた」「もっと子どもコーナーが多いとよい」「親の持つ不安や悩みを出し合えて解決できる企画を今後も」「映画の中の子どもたちの姿に感動した」などの感想が寄せられています。みなさん、来年もお楽しみに。(高木正一)

支部 斐 揖
長谷川先生を囲んで健康座談会
診察以外で医師と話ができるのは医療生協ならでは

2月4日、池田町中央公民館にて長谷川先生を囲んでの健康座談会に参加しました。

「ソーシャル・キャピタル」とは初めて聞く言葉でした。地域に住む人たちがお互いに信頼し合い、安心感を抱いていると周囲との人間関係が円満になる。ストレスが少なく健康に良い環境が作り出せる。その結果長生きできるそうです。

「運動は一人より仲間とするのがお勧め」には納得です。一人では長続きしません。私は地域の体操クラブに参加しています。脳トレの2分ほどにワイワイガヤガヤと大騒ぎしています。大声で笑い合えるのが楽しいです。そんなに長生きしなくてもいいけれど、健康であり続けたいと思います。

医師から診察以外で話が聞けるのは医療生協ならではです。質疑応答の時間が有意義でした。サプリメントのグルコサミンやコンドロイチンの話が出ました。製薬会社を作っていないので1か月4千円ほど…効果がわかっていても、私には高くて現実には使えません。効く成分なら医薬品として保険が使えれば3割負担なので気軽に始められるはず。残念です。

「がん検診は受けるべきか？」と質問が出ました。「医療の進歩は日進月

歩だからがんも治せるようになってきている」と長谷川先生の答えでした。今の医療は患者と医師が同等の立場で、賢い患者になる必要があるそうです。

自分の治療方針を自分で選択するよいう流れだそうです。検査結果に対して冷静に聞けるのだろうか？わからなくて理解できなくて困るだろう…自分一人で背負い切れるのだろうか…

いくら医療の進歩でがんが治る病気になってきたとはいえ、医療費など考えると痛みだけ何とかしてもらえばいいと私は考えています。

出席者から、病気の夫の意思を尊重し、難しい選択をされている方の話が聞けました。治そうとする生きる力の話もされました。年を重ねてきたからこそその重み強みに感じいりました。お互いに寄り添える家族の素晴らしさは感銘深かったです。

最後に「池田町に診療所を作ろう」という話が出ました。現在車に乗れても後期高齢者になればわかりません。公共交通機関が少ないので病院に行くのも不自由です。近くにできれば安心です。そうなればもっと組合員数も増えるでしょう。実現できるとありがたいなと少し明るい気持ちで帰りました。

(伊藤秀子)

しずさとたすけあい
**人の役にたつって
 嬉しいことなんだ**

先日、「しずさとたすけあい」で初めて担い手の仕事をしました。

始めは自分で大丈夫かなと思いましたが、蛍光灯の取替作業が終わり利用者さんから「ありがとう、助かりました」と喜びと感謝の声をいただき、「役に立ってよかった、やって良かった」と私も喜んでしまいました。ほんの



大垣西支部

**健康講座「眼の話」を開催
 西支部配達ご苦労さん会も**

1月28日(日) 西支部在住の眼科看護師の山田元美さんによる「眼の話」と「げんき配達ご苦労さん会」がありました。

老いると誰もが水晶体が曇り、見えにくくなる白内障の話。医学は確実に進歩して手術は日帰りで行えること、装着するレンズも多様化し、自分のライフスタイルに合わせて選べる時代であることと話を下さった。「手術直後は、20

歳に戻ったかと思われる程はつきり見え感動したんだけれど、月日が経つにつれ見えにくくなった。再手術はできるのかの疑問にはNOだったが、その代わり、「レーザーを当ててよく見えるように」

小さなことでしたが、人の役に立って嬉しいことなんだなと思いました。

一見ではわからないけれども、老夫婦だったり一人暮らしだったり、近所とのつきあいも少なく孤立し助けてほしいけど言えない、こんな風に困っている方がいるんだと勉強にもなりました。

プロではないので全てはお引き受けできないところもありますが、少しでも困っている人のお役に立って喜んでもらえるよう「しずさとたすけあい」で頑張っていきたいです。(E・Y)

きます」の答に私たちはほっとしました。「白内障の手術後、顔面神経痛になった人がいるが…」の質問には、「眼の手術が原因で顔面神経痛になることはない」「眩しくて目薬が手離せない」の訴えには「ドライアイの可能性もあり、それに適した目薬もある」等、「加齢とともに目にも不都合が起きるがそんな時には医師に相談すべき」ということも判りました。

「ご苦労さん会」には28名の参加。こちらも高齢化が進んでいるようだ。折角配達される『げんき』。隅々まで目を通して、他支部の行事でも自分に必要だと思われる講座や行事には進んで参加し、自分も家族も元気で安心して生活できるように技量をつけ、地域の人と繋がりたい。

(馬淵直子)

赤坂支部

柄澤先生を迎え健康講座

「差額ベッド代」払わなくていい場合も

2月25日(日)午後10時より、青墓地区センターで健康講座を行いました。支部運営委員会で「柄澤先生のお話を聞きたい」との要望で講師の依頼をしたところ、多忙な中受けていただき実現しました。

「差額ベッド代は支払わなくていい場合がある」というお話をしていただきました。ずっと以前から「差額ベッド代」というのはあって、個室は「ぜいたく」だから払うことが当然のこのこと

ように思われてきましたが、今では4人部屋まで「差額ベッド代」を徴収してもいいことになっています。これは、政府の医療費削減政策によるものです。診療報酬は低いままにしておいて、患者から差額を徴収しなさいということなんです。ただし「患者への十分な情報提供を行い、患者の自由な選択と同意に基づいて行われる必要がある」など規定を定めています。

また、差額徴収をしてはいけない場合も定めています。①治療上の必要で個室に入った②病院側の都合で個室に入った③差額のベッド代の説明がなかった。④同意書に署名がなかった場合などは徴収してはいけないという決まりがあるということが、厚労省の通達で明確になっているとのこと。払わなくてもいい場合もあることがわかりました。体験者からの質問やわかりやすい資料もあり良く理解することができました。

生協の診療所で開設以来、所長医師として、どんな思いで働いておられるかとの問いに、どんな病気も診療し相談にのって、患者さんの思いに添えてきたこと、これからもその思いは変わらないと答えられ、頼もしく感じました。また、経済的に厳しい方にも平等



に医療を受けられるように、その人の身体状況をみて障害者認定の申請を行うなどの手助けをしていること、訪問診療では自宅で最期を迎えたい希望に応え、看取りも行っていることなどのお話がありました。お金のあるなしで医療に差をつけられない無差別、平等の医療をしようと診療所は実践されていて力強く思いました。

当日は予想を越え70人近くの参加者がありました。他支部の皆さんも多く参加して応援していただきありがとうございました。健康委員の皆さんと樋口、小川両看護師さんも協力、応援していただき感謝申し上げます。私達赤坂支部はこれからも健康講座、健康サロン、ヨガ班会、金生山ウォーキング班会、花見など行事を通じて組合員の皆さんと繋がりを深め、支部活動、仲間ふやしなど進めていきたいと思えます。

(宇津時雄)

不破支部

手作りソーセージ教室に参加して

2月10日、関ヶ原中央公民館で、手作りソーセージ教室が開催されました。

ハープを使ってのソーセージ作りに関心を持って下さったご夫婦、親子、姉妹、ご近所友達など多くの方が参加してくださいました。



講師の戸倉先生からソーセージのペースタ、サフランスープ、ハーブクッキー、ハーブティの作り方の説明を聞きました。家庭で育てられているハーブを持ってきていただいたので、セージ、ローズマリー、タイム、バジル、サフランなどを手に取って知ること

とハーブティに心癒されたひと時でした。

5つのテーブルに分かれ、それぞれ分担し手際良く料理が出来上がってきます。ハープをすりつぶしてウィナーに、細かく切ったクッキーに、葉をぎぎってスープに、と入ります。

子どもたちの好きなソーセージ(市販のものは添加物が多い)も肉を細かく切り、砂糖、塩、米粉スキムミルクを入れよく練って、ラップにくるみソーセージの形にしてフライパンで焼きました。これなら安心して食べられます。

スープも魚介類たっぷりでもおいしく、ローズマリーのハーブクッキー

(藤壇はるみ)

西支部

健康班会 楽しく広場

今回は腰について健康法を学びます。

日時 3月23日(金) 10時~12時
参加費 100円
場所 南徳光公民館
連絡先 090-4860-4505 (齋藤)

健康委員会

ノルディックウォーキング

日時 3月25日(日) 10時~12時
場所 介護センターしずさと
折込みチラシを挟んでいますのでご覧ください。

西濃南部支部

健康のつどい

日時 3月25日(日) 10時~15時
場所 養老中央公民館1階 和室
昼食代 500円
申込 3月20日(火)まで
申込先 56-0876(木村)
35-2538(近藤)
46-3712(田中)

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日

3月8日(木) 14日(水) 20日(火) 30日(金)
4月4日(水) 11日(水) 17日(火) 27日(金)
5月2日(水) 7日(月)

時間はいずれも午後1時~

場 所 三城公園ソフトボール場

問合せ・申込先 河村秀一
090-5450-3227

不破支部

お菓子づくり教室

日時 4月14日(土) 9時30分から
場所 関ヶ原町中央公民館別館 調理室
フライパンで作るバームクーヘン
紙コップで作るシフォンケーキ
参加費 300円
持 物 エプロン・三角巾・ふきん
問合せ先 伊藤 0584-22-5719

エンディングノートを書こう
& 成年後見制度のお話

あなただけのエンディングノートを作りましょ
う! どなたでもご参加できます。お気軽にご参
加ください。

日時 5月13日(日) 10時~12時
場所 垂井町文化会館 小ホール

無料 暮らし何でも相談会

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・
親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医
療事故、消費者被害、損害賠償など。提携
弁護士がご相談をお聞きします。

日時: 3月15日(木) 午後1~3時
4月19日(木) 午後1~3時

場所: しずさと診療所内

相談料: 無料

相談時間: 30分

事前申込みが必要です。

本部電話 0584-92-3268

新入職員紹介

しずさと診療所 作業療法士 内海 佑輔



今年の1月よりしずさと診療所に入
職いたしました。今まで主に急性期・回
復期の病棟にて働いていました。今まで
の自分の知識と経験を活かし、これから
関わらせて頂く地域の方々が笑顔で健康
で過ごせるよう、自分に出来る事を日々
考えながら、精一杯やらせて頂きたいと
思います。ご指導のほどよろしくお願い
致します。

しずさと診療所 理学療法士 浅野 莉絵



1月にしずさと診療所に再入職いた
しました。以前こちらで学ばせていた
だいたことや経験をもとに、地域に住
まれている方々が健康で、より長く住
み慣れた自宅や地域で生活していける
ために少しでも役に立てると幸いです。
今後どうぞよろしくお願ひ致します。

しずさと介護支援センターケアマネージャー
浅野 多美江



今年1月に介護支援センターに入職
いたしました。ケアマネージャーとし
てまだまだ未熟であり、日々勉強の毎
日ですが、ご利用者様の支えとなれる
よう先輩方の力もお借りしながら成長
したいと思っております。どうぞよろ
しくお願ひいたします。

西濃南部支部
笑いヨガ班へのお誘い
 ~笑いヨガで心も体も健康に~
 日時 3月18日(日)午前10時より
 4月15日(日)午前10時より
 どちらも1時間位行います。
 場所 養老町 広幡公民館 和室(養老町口ケ島19-1)
 持ち物 飲み物 タオル(笑うので喉が渇きます)
 参加費 無料
 どなたでもお気軽にお越しください。
 連絡先 長屋由利子 080-1612-4387

中央支部
班活動の会場変更のお知らせ
 3月まで西公園管理棟で実施していますが、4月より会場は「大垣市老人福祉センター」(大垣市寺内町4丁目94-1、電話73-5002)になります。
 「げんきの会」という名称で、スクエアステップ班会(毎月第1木曜日)と転倒予防体操班会(毎月第3木曜日)を10時~11時に行います。
 駐車場もありますので、どなたでもお誘い合わせて是非ご参加ください。
 問い合わせ先: 松岡 090-5854-6428
 大橋 090-4087-7865

神戸支部
お花見へのご案内
 日時 3月29日(木) 11時~14時
 場所 神戸町ふれあいセンター(西側輪中堤)
 会費 500円(弁当代、当日払い)
 申込みは、3月25日までにお願いします
 問合せ・申込み先 正岡礼子 0584-27-5957
 野上典男 0584-27-6814
 古橋和仁 090-5107-2787

診療所・介護事業所の草取りボラ
にご協力お願いします
 下記の日時で草取りを行います。皆さまのご協力をお願い致します。
 日時 3月21日(水・祝) 8時~
 集合場所 しずさと診療所
 問合せ先 正岡礼子 0584-27-5957

ウォーキングの会
 日時 3月19日(月) 雨天の場合は26日(月)
 場所 多度山に登ります。日当たりのよい南東斜面。標高差300m程を時間をかけてゆっくり登ります。標高403mの展望台からは濃尾平野を一望。
 健脚度 中級
 集合場所 教育会館 8時45分
 しずさと診療所 8時55分
 南濃道の駅 9時40分
 持ち物 弁当・水筒・雨具など
 登山靴または運動靴で
 会費 100円 交通費300円
 問合せ先 馬淵秀人 0584-91-5687 090-6580-8156

山楽会
 日時 3月12日(月) 雨天時13日(火)
 場所 滝谷山(標高398m、雁又山の手前) 聖徳太子像から尾根に取りつく
 歩行時間 (2.5+2)時間
 健脚度 中級の中
 集合場所 教育会館 8時00分
 しずさと診療所 8時00分
 池田中央公民館 8時30分
 大野町運動公園 9時00分
 大垣帰着 16時30分頃
 持ち物 弁当・お茶・雨具・防寒着
 会費 100円+交通費200円
 問合せ先 奥田進 0584-89-2604 090-7687-0031

しずさと診療所 診療案内
内科・外科・整形外科・リハビリテーション科
 水曜夜の柄澤医師の診察は予約のみです。
 金曜午前は長谷川医師が診察を担当、柄澤医師は胃カメラ・エコーを担当します。
 土曜日の診察
 第1・3に新しく岡野医師が加わりました。
 第4は長谷川医師が担当します。

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤	柄澤	/	柄澤	柄澤
9~12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	長谷川	柄澤
	第二診察室	長谷川	長谷川	長谷川	<往診> 長谷川	<検査> 柄澤	/
14~17時	訪問診療	柄澤 長谷川	柄澤 長谷川	柄澤 長谷川	柄澤	柄澤 長谷川	/
17~19時	第一診察室	柄澤	/	泉	/	長谷川	/
	第二診察室	/	/	柄澤	/	/	/

<医療・介護のお問い合わせは>
しずさと診療所
 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
デイサービスひのき
 電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
 〒503-0981 大垣市松町706

介護センターしずさと
 電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
 〒503-0981 大垣市松町1452
 ・介護支援センター 0584-93-1171
 ・デイサービスセンター 0584-93-1172
 ・訪問看護ステーション 0584-93-1173
 ・ショートステイ 0584-93-1175